

平成 30 年 10 月

お 客 さ ま 各 位

北 海 道 信 用 金 庫

「平成 30 年度 地域密着型金融推進計画の上半期進捗状況について」

皆さまから親しまれ、信頼される『アワーズしんきんバンクの実現』を目指し、今年度も地域密着型金融を積極的に推進してまいりましたので、その進捗状況をお知らせ致します。

今後とも地域経済活性化に資する取組みを役職員一丸となって実践してまいります。引き続きご支援・ご協力のほど宜しくお願い申し上げます。

なお、各項目の詳細につきましては、別添の「平成 30 年度 地域密着型金融推進計画」をご参照下さい。

記

1. 地域密着型金融推進のための 3 大項目

- ① コンサルティング機能の発揮
- ② 地域の面的支援への積極的な参画
- ③ 地域や利用者への積極的な情報発信

2. 重点課題の主な取組み実績

① ライフステージに適したコンサルティング機能の発揮

- ・ 創業・新事業支援融資（年間目標 150 件、12 億円）

上半期の実績は 87 件、7 億 54 百万円となりました。

年間目標に対し順調に推移しております。

- ・ 課題解決支援の強化

製品開発・販路開拓等の取組みを支援する「北海道中小企業新応援ファンド」に参画したほか、各種ビジネスマッチング事業への積極的な参画により、課題解決支援に取り組んでおります。

・ **経営改善支援の強化（ランクアップ年間目標 25 先）**

上期中に 23 先のランクアップを実現しており、順調な進捗となっております。

・ **事業再生への取組み**

上半期に新たに DDS 等を活用した事業再生支援の実績はございませんでしたが、引き続き、再生を目指す企業に対する積極的かつ前向きな支援に取り組んでまいります。

・ **事業承継への取組み**

事業承継に関するご相談等については、(株)しんきん北海道金融センターの担当者と業務提携先等が訪問により対応しております。

平成 30 年 8 月 21 日には「事業承継・M&A セミナー」を開催致しました。

② **担保・保証に過度に依存しない融資態勢の強化**

シンジケートローンに参加したほか、無担保・無保証人の融資取扱いについても適切に対応致しました。

③ **地域経済の活性化への取組み**

地域コワーキングスペース「リラコワ」を定期的に訪問し、地域創業希望者や事業者の経営相談の受付等を実施しております。

地域貢献活動の一環として、各地域の行事に積極的に参加しております。小樽市の「おたる潮まつり」（176 名参加）や余市町の「北海ソーラン祭り」（132 名参加）のほか、各地域・各店において 70 を超える地域行事に参加・協力し、地域の皆さまとの交流を図っております。

④ **当金庫の経営内容・取組み等に関する情報発信**

ディスクロージャー誌及びホームページに経営状況を公表し、経営の透明性を図っております。

全営業店に設置している「ご意見メール BOX」に寄せられた意見・要望の中から、実現可能なものを経営施策に反映し、利用者満足度向上に取り組んでおります。

以 上

平成30年度 地域密着型金融推進計画

1. 地域金融機関として中小企業支援・地域活性化支援の強化を図るため、以下の3項目について意識を持った活動を推進します。
 - ①コンサルティング機能の発揮
 - ②地域の面的支援への積極的な参画
 - ③地域や利用者への積極的な情報発信
2. 重点課題として、以下の4項目について積極的に取り組んでまいります。
 - ①ライフステージに適したコンサルティング機能の発揮
 - ②担保・保証に過度に依存しない融資態勢の強化
 - ③地域経済の活性化への取組み
 - ④当金庫の経営内容・取組み等に関する情報発信

項 目	計画(取組方針、目標)	進捗状況
1. コンサルティング機能の発揮		
(1) 創業・新事業支援の強化	①情報の提供、適切な支援機能の強化 ②創業・新事業支援に関する実績の公表(目標150件、12億円の実行)	①創業・新規事業支援案件並びに創業補助金申請等に対し、㈱しんきん北海道金融センターにて幅広く情報提供や相談に応じております。 ②創業・新規事業支援融資取扱い実績(平成30年4月～9月)…87件、7億54百万円 年間目標に対する進捗状況は、件数で58%、金額で63%となりました。
(2) 課題解決支援の強化	①経営相談等の機能強化及び情報提供機能の一層の強化 ②ビジネスマッチング支援等	①認定支援機関として、ものづくり補助金等の各種補助金制度の活用を推進しております。 ・平成29年度補正ものづくり補助金(1次公募)では、当金庫が認定支援機関として支援したお客さまのうち4先が採択されました。今後も、お取引先に対して各種補助金制度の積極的な活用提案を実施してまいります。 ・平成30年8月28日、製品開発・販路開拓等の取組みを支援する「北海道中小企業新応援ファンド」に参画しました。 ②北洋銀行主催の「北洋ものづくりテクノフェア」へ取引先3社に出展いただきました。(7月26日開催) ・信金中央金庫が制作する「平成30年度優待カタログ」に、取引先4社の商品が掲載決定しました。 ・東京東信金主催の「ひがしんビジネスフェア2018」に取引先5社が出展予定。(11月16日開催) ・当金庫より取引先4社にバイヤーを紹介し商談が成立しました。 ・北海道信用金庫 ビジネスレポート「北海道信用金庫ビジネスマッチング広場」に取引先6社を掲載致しました。 ・北海道信用金庫 ビジネスレポート「5金庫誌上ビジネスマッチング」に取引先4社を掲載致しました。

項 目	計画(取組方針、目標)	進捗状況
(3) 経営改善支援の強化	①認定経営革新等支援機関としての経営改善支援等の実効性向上 ②地域金融円滑化に関する恒久的措置への対応 ③経営改善支援取組実績の公表(ランクアップ目標25先) ④外部専門家との連携強化と積極的な活用	①認定経営革新等支援機関として、北海道中小企業支援ネットワーク、石狩地域中小企業支援ネットワーク等を通じて情報交換を行い、連携の強化を図っております。 ・経営改善・事業再生支援施策の活用・提案及び北海道経営改善支援センターの経営改善計画策定支援事業を活用し、実効性の向上を図っております。 ・経営改善計画策定支援として、早期経営改善計画策定支援事業を17先に活用致しました。 ②金融円滑化対応先や経営改善支援先(253先)に対し、モニタリング・ヒアリングの実施や企業の経営実態並びに財務内容、経営改善計画の進捗状況を把握し、経営改善・事業再生支援を行っております。 ・中小企業向け創業・育成&成長ファンド「しんきんの翼」や北海道オールスターファンド(事業再生ファンド)等、新たな資金供給手法の推進を図っております。 ③経営改善支援先のランクアップ目標25先に対して、上半期中に23先がランクアップ致しました。 ④地域プラットフォームとして「北海道ビジネス創造連携プラットフォーム」「北海道中小企業総合支援プラットフォーム」「道央圏商工会議所ネットワーク」の構成機関になっております。 ・経営サポート会議や専門家派遣事業、よろず支援拠点等の外部機関・外部専門家を活用した支援活動を推進しております。 ・経営支援の一環として、お取引先の緊急時における事業継続の対策等を支援するため、中小企業庁の「BCP専門家派遣事業」の活用を積極的に推進しております。 ・経営サポート会議4件、専門家派遣を7回(うち、BCP専門家派遣1回)活用致しました。
(4) 事業再生への取組み	①中小企業再生支援協議会等の一層の活用 ②RCC・サービサー等との連携 ③事業再生支援機能の強化	①上半期に当金庫提案による北海道中小企業再生支援協議会の活用実績はございませんでしたが、引き続き、事業再生について積極的に取り組んでまいります。 ②各サービサーに対するアプローチを継続実施してまいります。 ③上半期に新たにDDS等を活用した事業再生支援実績はございませんでしたが、引き続き、再生を目指す企業に対する積極的かつ前向きな支援に取り組んでまいります。 ・平成30年7月2日、北海道内の中小企業の経営改善・事業再生を目的として、「北海道オールスター2号 投資事業有限責任組合(事業再生ファンド)」を道内金融機関等と共同で設立致しました。
(5) 事業承継への取組み	①取引先企業の後継者問題、相続対策への対応	①前年度からの継続案件を含め、事業承継相談21件を受付しております。 相談企業には、㈱しんきん北海道金融センターの担当者と業務提携先等が訪問により対応しております。 ・M&A(譲渡)成約実績は1件。 ・「事業承継・M&Aセミナー」を開催致しました。 8月21日開催 倶知安会場 参加者43名、8月23日開催 札幌会場 参加者43名 ・「事業承継サポートネットワーク」へ参画し、事業承継に関する地域の現状や課題等を共有したほか、各機関の支援施策等に関する情報交換を行っております。 ・4月7日、全支店長を対象に事業承継・M&A研修を実施致しました。
(6) 中小零細企業に適した資金供給手法の徹底	①担保・保証に過度に依存しない融資の徹底 ②目利き能力の向上	①シンジケートローンに積極的に参加したほか、無担保・無保証の融資取扱にも適切に対応致しました。 実績:シンジケートローン(6件)、無担保無保証人融資(203件)。 ②融資渉外担当者の審査トレーニングを実施し、審査能力の向上に取り組んでいるほか、外部研修として北海道信用金庫協会主催「融資推進講座」に2名、「貸出審査能力養成講座」に2名が参加致しました。 また、研修派遣者を講師として主任職・一般職向けに研修を実施致しました。(合計24名受講) 平成30年10月に「目利き力養成講座」に1名参加予定です。 ・融資・自己査定研修会を実施し、融資審査・管理回収、経営改善・事業再生支援、金融円滑化対応、信用格付、自己査定等の留意事項に関して周知徹底を図りました。

項 目	計画(取組方針、目標)	進捗状況
2. 地域の面的支援への積極的な参画		
(1) 地域経済の活性化への取組み	<p>① 地域住民および産学官金労との連携強化 ② 地域行事等への積極的参加</p>	<p>① 株式会社北海道金融センター代表取締役社長が産学官連携支援協議会委員に就任し、「産学官連携支援事業」を支援しております。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・一般社団法人北海道中小企業家同友会「産学官連携研究会HoPE」月例会へ定期的に出席しております。 ・江別経済ネットワークに参画しております。 ・地域コワーキングスペース「リラコワ」を定期的に訪問。地域創業希望者、事業者の経営相談を受付けております。 <p>② 地域貢献活動の一環として、各地域の行事に積極的に参加しております。 余市・小樽の両事業本部では夫々メインとなる行事に積極的な参加・協力を行いました。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・H30.7.7 : 余市北海ソーラン祭り 金庫役職員参加人数総勢132名 ・H30.7.28 : おたる潮まつり 金庫役職員参加人数総勢176名 <p>その他各地域・各店において、70を超える地域独自の行事等に参加・協力し、地域の皆さまとの交流を図っております。</p>
3. 地域や利用者への積極的な情報発信		
(1) 当金庫の経営内容・取組み等に関する情報発信	<p>① 経営内容・取組等に関する情報発信 ② 各種セミナーの開催 ③ 金融経済教育の実施 ④ CS向上への取組み ⑤ 環境問題への取組強化</p>	<p>① ディスクロージャー誌及びホームページに経営状況を公表し、経営の透明性向上を図っております。</p> <p>② 田崎史郎氏(政治ジャーナリスト)を講師に迎え、「どうなる日本！ 今後の政治・経済の動向」と題し、北海道信用金庫経済講演会を開催致しました。(5月16日(札幌)、17日(小樽)開催 参加者数: 1,165名)</p> <p>③ 小樽商科大学において「商学特講～信用金庫の役割と地域経済活性化」と題し、今年度で10年目となる提供講義(前期2単位)を開催致しました。(履修者数: 88名)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・金融教育の一環として、平成30年8月23日・24日に蘭越支店にて、中学生による職場見学の受入れを実施致しました。なお、11月に澄川支店においても実施する予定です。 ・平成30年11月14日に、小樽商科大学にて金融業界研究に関する講座を開催予定です。 <p>④ CS向上への取組みとして導入している「CSマスター制度」に関し、高い業務知識と優れた応対能力を持つ職員を「CSマスター」として認定する予定です。同職員が他の職員の模範・目標となることで、業務担当者全体の能力向上を図って参ります。(CSマスター認定者数は、平成30年9月末現在6名)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・全営業店に設置している「ご意見メールBOX」に寄せられた意見・要望等の中から、実現可能なものを経営施策に反映し、利用者満足度向上に取り組んでおります。 <p>⑤ 「クールビズ2018」(6月1日～9月30日)を実施致しました。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・二酸化炭素排出量削減に向け、当金庫の「環境自主行動計画」に基づき各種取組みを実践しております。 ・地域貢献活動の一環として、6月2日に「小樽運河散策路」清掃活動を行いました。(金庫役職員参加人数95名) ・お客様用の販促品等の一部にグリーン購入法適合・エコマーク認定商品等環境に配慮したものを採用致しました。